Translation Branch The world of foreign prior art to you. Request Form for Translation Translations U. S. Serial No.: Requester's Name: Tau 308-4396 Phone No.: Far No. : PTO 2003-3650 Office Location: CP3 8210 Art Unit/Org.: S.T.I.C. Translations Branch Group Director: Is this for Board of Patent Appeals? Phone: 308-0881 Fax: 308-0989 Date of Request: Location: Crystal Plaza 3/4 Date Needed By: Room 2C01 Please do not write ASAP-indicate a specific date) SPE Signature Required for RUSH: To assist us in providing the most cost effective service. Document Identification (Select One): please answer these questions: **(Note: Please attach a complete, legible copy of the document to be translated to this form)** Will you accept an English Language Equivalent? Document No. Patent Language (Yes/No) Country Code **Publication Date** 11/10/99 Will you accept an English (filled by STIC) No. of Pages abstract? Author Article Language (Yes/No) Country Type of Document Would you like a consultation with a translator to review the Country document prior to having a Language Document Delivery (Select Preserence): E. M. complete written translation? Delivery to nearest EIC/Office Date: 6. 4.03 (STIC Only) (Yes/No) (STIC Only) Call for Pick-up Date: (STIC Only) Date: Fax Back TIC USE ONLY pv/Search_ Date logged in: 'rocessor: PTO estimated words:)ate assigned: Number of pages:)ate filled: In-House Translation Available: (Yes/No) equivalent found: Contractor: In-House: Name: Translator: Doc. No.: Priority: Assigned: Country: Sent: Returned: Returned:

temarks:

WEST

Generate Collection

Print

Search Results - Record(s) 1 through 2 of 2 returned.

☐ 1. Document ID: JP 11317228 A

L3: Entry 1 of 2

File: JPAB

Nov 16, 1999

PUB-NO: JP411317228A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 11317228 A

TITLE: NEGATIVE ELECTRODE MATERIAL FOR LITHIUM ION SECONDARY BATTERY AND ITS

MANUFACTURE

PUBN-DATE: November 16, 1999

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

HIROHATA, TAKESHI MIYAMOTO, DAIKI HASEGAWA, SHOJI TAMURA, SADATAKA MIKI, RYOTARO NOSE, HATSUO

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME JIIKON:KK COUNTRY

COUNTRY

SHINETSU KASEI KK OSAKA PREFECTURE

APPL-NO: JP10137698

APPL-DATE: April 30, 1998

INT-CL (IPC): $\underline{\text{H01}}$ $\underline{\text{M}}$ $\underline{4/58}$; $\underline{\text{C23}}$ $\underline{\text{C}}$ $\underline{16/26}$; $\underline{\text{H01}}$ $\underline{\text{M}}$ $\underline{4/02}$

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To enhance capacity and cycle characteristics by uniformly covering the surface of carbon particles used as the constituting element of a negative electrode with at least one thin layer of carbon having the crystal structure different from the carbon particles constituting the negative electrode.

SOLUTION: In forming an amorphous carbon film on a crystalline carbon particle, graphite particles which are crystalline carbon particles are covered with a resin (phenol resin or the like) capable of being converted into amorphous carbon particles, then the resin is carbonized to obtain hybrid carbon particles. As the covering method, the graphite particles are immersed in a liquid-state resin, the surface of the graphite particles are covered with the resin, then are carbonized. Or, resin powder capable of being converted into an amorphous resin is uniformly mixed with the graphite particles, thermally decomposed by baking, thermally decomposed gas is deposited on the graphite particle surface, and an amorphous carbon film is formed on the surface. Or, hydrocarbon gas such as methane heated to thermal decomposition temperature or higher is passed through the graphite particles, and thermally decomposed carbon is formed on the graphite particles.

COPYRIGHT: (C) 1999, JPO

П



2. Document ID: JP 11317228 A

L3: Entry 2 of 2

File: DWPI

Nov 16, 1999

DERWENT-ACC-NO: 2000-059513

DERWENT-WEEK: 200009

COPYRIGHT 2003 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Cathode for lithium ion secondary batteries - consists of coating of graphite particle and non- crystalline carbon particle

PATENT-ASSIGNEE:

ASSIGNEE CODE
G CON KK GCONN
OSAKA PREFECTURE OSAP
SHINETSU KASEI KK SHINN

PRIORITY-DATA: 1998JP-0137698 (April 30, 1998)

PATENT-FAMILY:

 PUB-NO
 PUB-DATE
 LANGUAGE
 PAGES
 MAIN-IPC

 JP 11317228 A
 November 16, 1999
 005
 H01M004/58

APPLICATION-DATA:

PUB-NO APPL-DATE APPL-NO DESCRIPTOR

JP 11317228A April 30, 1998 1998JP-0137698

INT-CL (IPC): C23 C 16/26; H01 M 4/02; H01 M 4/58

ABSTRACTED-PUB-NO: JP 11317228A

BASIC-ABSTRACT:

NOVELTY - A thin film consisting of hybrid mixture of graphite and non-crystalline carbon particles is formed uniformly on the cathode.

DETAILED DESCRIPTION - An INDEPENDENT CLAIM is also included for manufacturing method of cathode.

USE - For lithium ion secondary batteries.

ADVANTAGE - Charging and discharging efficiency is increased.

CHOSEN-DRAWING: Dwg.0/0

TITLE-TERMS: CATHODE LITHIUM ION SECONDARY BATTERY CONSIST COATING GRAPHITE PARTICLE NON CRYSTAL CARBON PARTICLE

DERWENT-CLASS: LO3 M13 X16

CPI-CODES: L03-E01B3; L03-E01B5; M13-E02;

EPI-CODES: X16-B01F1; X16-E01C;

SECONDARY-ACC-NO:

CPI Secondary Accession Numbers: C2000-016315 Non-CPI Secondary Accession Numbers: N2000-046738

Generate Collection Print Terms Documents	Generate Collection Print		Review Classification	Date Reference	Sequences	Attachments	KWIC
	Terms Documents	Draw Desc Imagé					
	Terms Documents						
Terms Documents	<u> </u>		Generate (Collection	Print		
Terms Documents			L	!.			
	in-11317228-\$ did						

Display Format: FULL Change Format

Previous Page Next Page

PTO 2003-3650

S.T.I.C. Translations Branch

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平11-317228

最終頁に続く

(43)公開日 平成11年(1999)11月16日

(51) Int.Cl. ⁶	識別配号	FI	
HO1M 4/5	8	HO1M 4/58	
C 2 3 C 16/2	6	C 2 3 C 16/26	
H01M 4/0	2	H 0 1 M 4/02	D
		審査請求 未請求 請求	頃の数14 FD (全 5 頁)
(21)出願番号	特願平 10-137698	(71) 出願人 598065931	
		株式会社ジー	ーコン
(22) 出顧日	平成10年(1998) 4月30日	大阪府大阪市社会の大阪地産ビル	定川区西中島7丁目1-26新 605
		(71) 出願人 598065942	
		新越化成株式。	会社
		大阪府大阪市	西淀川区佃3丁目20番21号
		(71)出顧人 000205627	
		大阪府	
		大阪府大阪市・	中央区大手前2丁目1番22号
		(72)発明者 広畑 健	
		大阪府河内長	

(54) 【発明の名称】 リチウムイオン二次電池用負極材およびその製造方法

(57)【要約】

【課題】従来技術の問題点を解決乃至大幅に軽減することにより、高容量でサイクル特性に優れたリチウムイオン二次電池用負極材を得る技術を提供することを主な目的とする。

【解決手段】黒鉛粒子上に非晶性炭素薄膜の形成、および/または非晶性炭素粒子上に黒鉛層を少なくとも一層形成させること、および/または黒鉛粒子と非晶性炭素粒子を均一混合することによるハイブリッド炭素材料を用いたリチウムイオン二次電池用負極材およびその製造方法。

1

【特許請求の範囲】

【請求項1】 負極の構成要素として用いられる炭素粉末粒子表面にこれと結晶構造の違う炭素の薄膜を均一に、少なくとも一層被覆してなるリチウムイオン二次電池用負極材。

【請求項2】 黒鉛粉末粒子表面を液状樹脂により均一に付着させ、これを焼成することにより非晶質炭素薄膜を形成してなる請求項1に記載のリチウムイオン二次電池用負極材。

【請求項3】 黒鉛粉末粒子表面を表面処理することに 10 より液状樹脂の付着性を改善してなる請求項2に記載の リチウムイオン二次電池用負極材。

【請求項4】 難黒鉛化性樹脂粉末粒子表面に易黒鉛化性樹脂を被覆し、これを黒鉛化温度まで焼成して得られる請求項1に記載のリチウムイオン二次電池用負極材。 【請求項5】 黒鉛粉末粒子および非晶質炭素粉末粒子を均一に混合してなるリチウムイオン二次電池用負極材。

【請求項6】 黒鉛粉末粒子および難黒鉛化性樹脂粉末 粒子を均一に混合し、これを焼成して樹脂分を炭素化し てなるリチウムイオン二次電池用負極材。

【請求項7】 黒鉛粉末粒子表面を化学的気相含浸法により表面処理することにより非晶質炭素薄膜を形成してなる請求項1に記載のリチウムイオン二次電池用負極材。

【請求項8】 負極の構成要素として用いられる炭素粉末粒子表面にこれと結晶構造の違う炭素の薄膜を均一に、少なくとも一層被覆してなるリチウムイオン二次電池用負極材の製造方法。

【請求項9】 黒鉛粉末粒子表面を液状樹脂により均一 30 に付着させ、これを焼成することにより非晶質炭素薄膜を形成してなる請求項1に記載のリチウムイオン二次電池用負極材の製造方法。

【請求項10】 黒鉛粉末粒子表面を表面処理することにより液状樹脂の付着性を改善してなる請求項2に記載のリチウムイオン二次電池用負極材の製造方法。

【請求項11】 難黒鉛化性樹脂粉末粒子表面に易黒鉛化性樹脂を被覆し、これを黒鉛化温度まで焼成して得られる請求項1に記載のリチウムイオン二次電池用負極材の製造方法。

【請求項12】 黒鉛粉末粒子および非晶質炭素粉末粒子を均一に混合してなるリチウムイオン二次電池用負極材の製造方法。

【請求項13】 黒鉛粉末粒子および難黒鉛化性樹脂粉末粒子を均一に混合し、これを焼成して樹脂分を炭素化してなるリチウムイオン二次電池用負極材の製造方法。

【請求項14】 黒鉛粉末粒子表面を化学的気相含浸法 により表面処理することにより非晶質炭素薄膜を形成し てなる請求項1に記載のリチウムイオン二次電池用負極 材の製造方法。 【発明の詳細な説明】

[0001]

【産業上の利用分野】 本発明は高容量、サイクル特性 に優れたリチウムイオン二次電池用負極材およびその製造方法に関するものである。

[0002]

【従来技術】 リチウムイオン二次電池は高エネルギー 密度、貯蔵特性および信頼性に優れた二次電池の一種で あり、近年注目されている。しかしながら金属リチウム を二次電池の負極活物質に用いた場合、充電時に負極表 面にデントライトと称される針状結晶の金属リチウムが 析出し、この針状結晶がセパレーターを突き破り正板と 負極の間で内部短絡を起こすことがあった。このためリ チウムを炭素材料に挿入させた負極材が用いられてい る。この場合用いる炭素材料として非晶質系のものと黒 鉛のように高度に結晶化したものがある。非晶質系の炭 素材料をリチウムイオン二次電池用負極材に用いた場 合、容量が大きくなるが、サイクル劣化も大きくなる。 これに対して黒鉛を用いると容量は小さくなるが、サイ クル特性が安定するため、現在リチウムイオン二次電池 20 用負極材では黒鉛系が主流となりつつある。すなわち黒 鉛にリチウムを担持させたリチウムイオン二次電池用負 極材は黒鉛層間にリチウムをインターカレートさせた組 成としてLiCGであり、その理論容量は372Ah/kgであり、 実際の容量もこの値前後である。一方ポリアセン構造を 持つ非晶質炭素材料からのリチウムイオン二次電池用負 極材では600~800Ah/kgの高容量になるが、サイクル劣 化は著しく、サイクル数が多くなると黒鉛以下の容量に なることが知られている。

30 【0003】黒鉛化構造を有する炭素粒子表面に非晶質 炭素被膜を形成し、これをリチウムイオン二次電池用負 極材に用いた公知のものとしては、特開平4-3687 78およびUSP5344726がある。しかしながら この方法では黒鉛粒子表面にプロパンガス等の炭化水素 ガスを流しながら焼成することにより黒鉛粒子表面に非 晶質炭素被膜を形成している。この方法では炭化水素ガ スに直接接触する部分には非晶質炭素被膜が形成し易い が、黒鉛粒子は凝集するため黒鉛粒子同士が密着してい る部分にはCVD法をもってしても非晶質炭素被膜を形 成しない。

[0004]

【発明が解決しようとする課題】 従って、本発明は従来のCVD法では得られなかった炭素粒子表面に均質化してかつ結晶構造の異なる薄膜層を少なくとも一層以上付着させることにより高容量、サイクル特性に優れたリチウムイオン二次電池用負極活物質を提供することを主な目的とする。

[0005]

【課題を解決するための手段】 本発明者はリチウムイ 50 オン二次電池用負極材として、高容量ではあるがサイク 20

ル特性の劣る非晶質炭素材料の特徴とサイクル特性に優 れているが低容量である黒鉛質炭素材料とをハイブリッ ド化することによりその目的を達成し得ることを見出し た。

【0006】従来のCVD法では黒鉛粒子表面に有機ガ スを流し、このガスの熱分解によって黒鉛粒子表面に非 晶質炭素被膜を形成するのであるが、黒鉛粉末粒子塊の 表面層と内部層では非晶質炭素被膜の形成の程度が異な る。すなわち、表面層は非晶質炭素被膜が厚く、内部 層、とりわけ中心部ではほとんどの場合非晶質炭素被膜 10 の被覆層が形成しない。

【0007】本発明者は炭素粉末粒子中に樹脂、ヒ・ッ チなどの有機系の粉末粒子を均一に混合したものを非酸 化雰囲気下で焼成することにより熱分解ガスにより炭素 粉末粒子表面に新たな炭素被膜の形成が可能なことを見 出した。あるいは炭素粉末粒子を液状樹脂中に浸すこと により炭素粉末粒子表面を樹脂コートし、これを焼成す ることにより炭素被膜を形成させた。この場合、黒鉛粒 子表面に非晶質炭素被膜を形成するばかりでなく、非晶 質炭素粒子表面に黒鉛被膜層の形成も可能である。

【0008】即ち、本発明は、下記のリチウムイオンニ 次電池用負極材料を提供するものである; 1. 負極の 構成要素として用いられる炭素粉末粒子表面にこれと結 晶構造の違う炭素の薄膜を均一に、少なくとも一層被覆 してなるリチウムイオン二次電池用負極材およびその製 造方法。

【0009】2 黒鉛粉末粒子表面を液状樹脂により均 一に付着させ、これを焼成することにより非晶質炭素薄 膜を形成してなる上記項1に記載のリチウムイオン二次 電池用負極材およびその製造方法。

【0010】3. 黒鉛粉末粒子表面を表面処理すること により液状樹脂の付着性を改善してなる上記項2に記載 のリチウムイオン二次電池用負極材およびその製造方

【0011】4. 難黒鉛化性樹脂粉末粒子表面に易黒鉛 化性樹脂を被覆し、これを黒鉛化温度まで焼成して得ら れる上記項1に記載のリチウムイオン二次電池用負極材 およびその製造方法。

【0012】5.黒鉛粉末粒子および非晶質炭素粉末粒 子を均一に混合してなるリチウムイオン二次電池用負極 40 材およびその製造方法。

【0013】6. 黒鉛粉末粒子および難黒鉛化性樹脂粉 末粒子を均一に混合し、これを焼成して樹脂分を炭素化 してなるリチウムイオン二次電池用負極材およびその製 造方法。

【0014】7. 黒鉛粉末粒子表面を化学的気相含浸法 により表面処理することにより非晶質炭素薄膜を形成し てなる請求項1に記載のリチウムイオン二次電池用負極 材およびその製造方法。

[0015]

【発明の実施の形態】本発明に用いる結晶性炭素粒子は 黒鉛に相当し、特に限定するわけでは無いが、平均粒径 5~50µm、より望ましくは10~30µm程度であ り、天然黒鉛、人造黒鉛、キッシュ黒鉛等、黒鉛の種類 は限定しないが、結晶構造が発達したものが望ましい。 【0016】本発明に用いる非晶性炭素粒子とは250 O℃以上の温度で黒鉛化処理して、X線回折、ラマン分 光分析等の測定をしたときに難黒鉛性を示す炭素粒子を いう。例えば、ここに掲げるものに限定するわけではな いが、合成樹脂類(フェノール樹脂、フラン樹脂、ポリ イミド樹脂、ポリパラフェニレン樹脂、コプナ樹脂、あ るいはこれらの共重合樹脂)、天然物類(松ヤニ、各種 木材、石炭、石油からの重質油など)等、炭素化したと きに残炭率の高いものが望ましい。

【0017】次にこれら炭素粒子に結晶構造の違う炭素 被膜を形成する方法として、結晶性炭素粒子上に非晶性 炭素被膜を形成させる場合と非晶性炭素粒子上に結晶性 炭素被膜を形成させる場合がある。結晶性炭素粒子上に 非晶性炭素被膜を形成させる場合としては、黒鉛粒子に 上記した非晶性炭素になり得る樹脂類を被覆させて炭素 化することによりハイブリッド炭素粒子を得る。被覆す る方法としては、液状樹脂類に黒鉛粒子を浸し、黒鉛粒 子表面に樹脂類を被覆させた後炭素化する方法がある。 この場合、被覆厚みは樹脂濃度に依存する。また黒鉛粒 子と上記した非晶性炭素になり得る樹脂類粉末を均一に 混合し、特に限定するわけではないが、400~100 0℃、より望ましくは500~800℃に熱分解焼成し て、熱分解ガスの蒸着により黒鉛粒子表面に非晶性炭素 被膜を形成したものがある。この場合では非晶性炭素被 30 膜を形成した黒鉛粒子と非晶性炭素が混在する。この 他、熱分解して炭素を生成するようなガス、例えばメタ ン、エタン、プロパン、ブタン、エチレン、アセチレン 等の炭化水素ガスを熱分解温度以上に加熱した黒鉛粉末 上に流し、熱分解炭素を黒鉛粒子表面に形成させる方法 もある。このような手法を化学的蒸着法(CVD)とい うが、さらに黒鉛粉末塊内部まで均一に処理できる化学

【0018】非晶性炭素粒子上に結晶性炭素被膜を形成 させる場合としては、上記した非晶性炭素になり得る樹 脂類粉末に易黒鉛化樹脂で被覆し、これを黒鉛化温度ま で焼成すれば良い。

的気相含浸法(CVI)によりハイブリッド炭素粒子を

[0019]

【実施例】以下に実施例を示し、本発明の特徴とすると ころを一層明らかにする。

【0020】実施例1

得る方法も取ることができる。

平均粒径15μmの黒鉛粒子 (結晶層間距離: 0.67 10 nm, 結晶子の大きさ:100 nm以下)をアンモ ニアを触媒にして合成したレゾールタイプのフェノール

50 樹脂溶液(樹脂固形分25wt%、メタノール75wt

%溶液)に浸し、軽く真空脱泡してから口過して過剰の フェノール樹脂溶液を取り除いた。次いで24時間室温 にて放置して風乾した後40℃の熱風循環式恒温乾燥機 内で24時間予備硬化した。さらに150℃まで100 時間かけて温度を上昇させて硬化した。

【0021】このようにフェノール樹脂で被覆した黒鉛 粒子をアルゴンガス雰囲気下で、室温から700℃まで 8時間かけて焼成してハイブリッド化した炭素粒子粉末 を得た。これをリチウム電池負極材用充放電測定装置 ((株)ナガノ製BTS-2004型。)を用い、電解 10 した炭素粉末を得て実施例1と同様に充放電を測定し

液はエチレンカーボネート系で充放電流密度0.1mA /cm2の条件下で充放電特性を調べた。

【0022】実施例2

樹脂固形分50wt% (メタノール50wt%)を使う 以外は実施例1と同様に行った。

【0023】実施例3

実施例1で用いたものと同様の黒鉛粉末を400℃の空 気雰囲気下で24時間酸化処理する以外は実施例1と同 様にして行った。

【0024】実施例4

硬化ずみフェノール樹脂粉末をアルゴンガス雰囲気下 で、室温から700℃まで8時間かけて焼成した非晶性 炭素粉末50wt%と実施例2と同様の黒鉛粉末50w t%を均一に混合して実施例1と同様に充放電を調べ た。

【0025】実施例5

実施例4における非晶性炭素粉末を25wt%、黒鉛粉 末75wt%とする以外は実施例4と同様にして行っ た。

【0026】実施例6

実施例4における非晶性炭素粉末を75wt%、黒鉛粉 末25wt%とする以外は実施例4と同様にして行っ た。

【0027】実施例7

硬化ずみフェノール樹脂粉末50wt%および実施例2 の黒鉛粉末50wt%を均一に混合し、アルゴンガス雰 囲気下で、室温から700℃まで8時間かけて焼成して 実施例1と同様に充放電を測定した。

【0028】実施例8

硬化ずみフェノール樹脂粉末75wt%および実施例2 40 の黒鉛粉末25wt%とする以外は実施例7と同様にし て行った。

【0029】実施例9

硬化ずみフェノール樹脂粉末25wt%および実施例2 の黒鉛粉末75wt%とする以外は実施例7と同様にし て行った。

【0030】実施例10

実施例2と同様の黒鉛粉末にプロパンガス50 v o 1% およびアルゴンガス50 vo 1%になるように混合ガス を流し、パルスCVI装置(フルテック(株)製FT-CVI 1200型)を用いて800℃の温度で100 0パルスになるまでパルス処理を行ってハイブリッド化 た。

【0031】実施例11

3、5ジメチルフェノール1モルに対し、ホルマリン 1.5モルおよびアンモニア0.002wt%から合成 したレゾールタイプの3、5ジメチルフェノール樹脂の メタノール溶液 (樹脂固形分25wt%、メタノール7 5wt%) 中に200メッシュパス硬化ずみフェノール 樹脂粉末を入れ、よくかき混ぜた後、軽く真空脱泡して 硬化ずみフェノール樹脂粉末表面上に3、5ジメチルフ 20 ェノール樹脂を披覆した。次にこれを口過し、過剰の 3、5ジメチルフェノール樹脂溶液を取り除いた後3、 5ジメチルフェノール樹脂を被覆した硬化ずみフェノー ル樹脂粉末を室温にて24時間風乾した。さらに40℃ の熱風循環式恒温乾燥機内で24時間予備硬化した後1 50℃まで10時間かけて温度を上昇させて硬化ずみフ ェノール樹脂粉末表面の3、5ジメチルフェノール樹脂 硬化させた。これをアルゴンガス雰囲気下で12時間か けて1200℃まで温度を上昇させて炭素化した。さら に超高温炉にてアルゴンガス雰囲気下で室温から250 30 0℃まで10時間で上昇させ、この温度で1時間保持し た。このような黒鉛化処理を行って難黒鉛化炭素粉末表 面に易黒鉛化炭素被膜を形成させたハイブリッド化した

【0032】比較例1

実施例1で用いたと同様の黒鉛粉末を何も処理せずに実 施例1と同様に充放電を測定した。

炭素粉末を得て実施例1と同様に充放電を測定した。

【0033】比較例2

硬化ずみフェノール樹脂粉末をアルゴンガス雰囲気下 で、室温から700℃まで8時間かけて焼成した非晶性 炭素粉末を実施例1と同様に充放電を測定した。

[0034]

【表1】

	充電容量(mAh/g)		放電容量(mAh/g) サイクル		可逆効率(%) サイクル	
	サイクル					
	1	5	1	5	1	5
実施例 1	440	379	359	365	83.9	96.3
奥施例 2	445	380	375	375	84. 3	98. 7
実施例 3	650	430	420	413	64. 6	96. 0
実施例 4	765	500	430	426	5 6. Z	85. 2
実施例 5	653	435	428	426	85. 8	97. 9
與施例 6	951	653	513	462	53.9	70.7
实施例?	852	523	498	482	58. 2	92. 2
実施例 8	973	827	521	479	53.5	76.4
奥施例 9	892	480	429	424	48.1	88. 3
赛施例10	524	518	489	486	93.3	93.8
実施例11	449	440	435	436	96.9	99. 1

350

294

348

246

[0035]

【発明の効果】本発明によるリチウムイオン二次電池用 負極材は、サイクル特性に優れているが、放電容量に劣 る黒鉛粒子および放電容量は大きいがサイクル特性に劣 る非晶製炭素粒子の欠点を補完するものである。

比較例 1

比較例 2

425

717

361

250

【0036】本発明による結晶性炭素と非晶性炭素のハイブリッド炭素材料は、黒鉛粒子上に非晶性炭素薄膜の形成、および/または非晶性炭素粒子上に黒鉛層を少な*

20*くとも一層形成させること、および/または黒鉛粒子と 非晶性炭素粒子を均一混合する3法から成る。これら3 法の何れも、結晶性炭素である黒鉛粒子のみからなるリ チウムイオン二次電池用負極材よりも放電容量を大きく することが可能となった。同時にポリアセンのような非 晶質系炭素のみからなるリチウムイオン二次電池用負極 材よりもサイクル特性に優れ、充放電効率を高めること が可能となった。

98.4

98.4

84. 7

41.0

フロントページの続き

(72)発明者 宮本大樹

奈良県奈良市西千代ケ丘1丁目23-17

(72)発明者 長谷川省治

大阪府枚方市香里ケ丘12丁目28-37

(72)発明者 田村貞隆

大阪府豊中市南桜塚3-6-13-305

(72) 発明者 三木亮太郎

大阪府大阪市住之江区平林北2丁目8-59

(72)発明者 野瀬初穂

大阪府大阪市住吉区杉本2丁目9-27



(11)Publication number:

11-317228

(43)Date of publication of application: 16.11.1999

(51)Int.CI.

H01M 4/58 C23C 16/26 H01M 4/02

(21)Application number: 10-137698

(71)Applicant: JIIKON:KK

SHINETSU KASEI KK

OSAKA PREFECTURE

(22)Date of filing:

30.04.1998

(72)Inventor: HIROHATA TAKESHI

MIYAMOTO DAIKI

HASEGAWA SHOJI TAMURA SADATAKA MIKI RYOTARO

NOSE HATSUO

(54) NEGATIVE ELECTRODE MATERIAL FOR LITHIUM ION SECONDARY BATTERY AND ITS MANUFACTURE

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To enhance capacity and cycle characteristics by uniformly covering the surface of carbon particles used as the constituting element of a negative electrode with at least one thin layer of carbon having the crystal structure different from the carbon particles constituting the negative electrode. SOLUTION: In forming an amorphous carbon film on a crystalline carbon particle, graphite particles which are crystalline carbon particles are covered with a resin (phenol resin or the like) capable of being converted into amorphous carbon particles, then the resin is carbonized to obtain hybrid carbon particles. As the covering method, the graphite particles are immersed in a liquid state resin, the surface of the graphite particles are covered with the resin, then are carbonized. Or, resin powder capable of being converted into an amorphous resin is uniformly mixed with the graphite particles, thermally decomposed by baking, thermally decomposed gas is deposited on the graphite particle surface, and an amorphous carbon film is formed on the surface. Or, hydrocarbon gas such as methane heated to thermal decomposition temperature or higher is passed through the graphite particles, and thermally decomposed carbon is formed on the graphite particles.

LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2000 Japanese Patent Office



MACHINE-ASSISTED TRANSLATION (MAT):

(19)【発行国】

(19)[ISSUING COUNTRY]

日本国特許庁(JP)

Japan Patent Office (JP)

(12)【公報種別】

(12)[GAZETTE CATEGORY]

公開特許公報(A)

Laid-open Kokai Patent (A)

(11)【公開番号】

(11)[KOKAI NUMBER]

特開平11-317228

Unexamined Japanese Patent (1999-317228)

Heisei 11-317228

(43)【公開日】

(43)[DATE OF FIRST PUBLICATION]

平成11年(1999)11月 (1999.11.16)

16日

(54)【発明の名称】

(54)[TITLE of the Invention]

材およびその製造方法

リチウムイオン二次電池用負極 A negative-electrode material for rechargeable lithium-ion batteries and its manufacturing

method

(51)【国際特許分類第6版】

(51)[IPC Int. CI. 6]

H01M 4/58

H01M 4/58

C23C 16/26

C23C 16/26

H01M 4/02

H01M 4/02

[FI]

[FI]

D

H01M 4/58

H01M 4/58

C23C 16/26

C23C 16/26

H01M 4/02

H01M 4/02

D

【審查請求】 未請求 [REQUEST FOR EXAMINATION] No

【請求項の数】

[NUMBER OF CLAIMS] 14



【出願形態】 FD [FORM of APPLICATION] Electronic

【全頁数】 5 [NUMBER OF PAGES] 5

(21)【出願番号】

(21)[APPLICATION NUMBER]

特願平10-137698

Japanese Patent Application (1998-137698)

Heisei 10-137698

(22)【出願日】

(22)[DATE OF FILING]

平成10年(1998)4月3 (1998.4.30)

0日

(71)【出願人】

(71)[PATENTEE/ASSIGNEE]

【識別番号】

[ID CODE]

598065931

598065931

【氏名又は名称】

[NAME OR APPELLATION]

株式会社 ジーコン

Jiikon, K.K.

【住所又は居所】

[ADDRESS or DOMICILE]

大阪府大阪市淀川区西中島7丁 目1-26新大阪地産ビル60

5

(71)【出願人】

(71)[PATENTEE/ASSIGNEE]

【識別番号】

[ID CODE]

598065942

598065942

【氏名又は名称】

[NAME OR APPELLATION]

新越化成株式会社

Shinetsu Kasei, K.K.



【住所又は居所】

[ADDRESS or DOMICILE]

大阪府大阪市西淀川区佃3丁目

20番21号

(71)【出願人】

(71)[PATENTEE/ASSIGNEE]

【識別番号】

000205627

[ID CODE]

000205627

【氏名又は名称】

[NAME OR APPELLATION]

大阪府

Osaka Prefecture

【住所又は居所】

[ADDRESS or DOMICILE]

大阪府大阪市中央区大手前2丁目1番22号

(72)【発明者】

(72)[INVENTOR]

【氏名】

[NAME OR APPELLATION]

広畑 健

Takeshi Hirohata

【住所又は居所】

[ADDRESS or DOMICILE]

大阪府河内長野市美加の台1-

35 - 3

(72)【発明者】

(72)[INVENTOR]

【氏名】

[NAME OR APPELLATION]

宮本大樹

Daiki Miyamoto

【住所又は居所】

[ADDRESS or DOMICILE]

奈良県奈良市西千代ケ丘1丁目

23 - 17



(72)【発明者】

(72)[INVENTOR]

【氏名】

INAME OR APPELLATION

長谷川省治

Shoji Hasegawa

【住所又は居所】

[ADDRESS or DOMICILE]

大阪府枚方市香里ケ丘12丁目

28 - 37

(72)【発明者】

(72)[INVENTOR]

【氏名】

[NAME OR APPELLATION]

田村貞隆

Sadataka Tamura

【住所又は居所】・

[ADDRESS or DOMICILE]

大阪府豊中市南桜塚3-6-1

3 - 305

(72)【発明者】

(72)[INVENTOR]

【氏名】

[NAME OR APPELLATION]

三木亮太郎

Ryotaro Miki

【住所又は居所】

[ADDRESS or DOMICILE]

大阪府大阪市住之江区平林北2

丁目8-59

(72)【発明者】

(72)[INVENTOR]

【氏名】

[NAME OR APPELLATION]

野瀬初穂

Hatsuo Nose



【住所又は居所】

[ADDRESS r DOMICILE]

大阪府大阪市住吉区杉本2丁目 9 - 27

(57)【要約】

(57)[ABSTRACT of the Disclosure]

【課題】

従来技術の問題点を解決乃至大 量でサイクル特性に優れたリチ 目的とする。

【解決手段】

黒鉛粒子上に非晶性炭素薄膜の 形成、および/または非晶性炭 素粒子上に黒鉛層を少なくとも 一層形成させること、および/ 子を均一混合することによるハ イブリッド炭素材料を用いたリ チウムイオン二次電池用負極材 およびその製造方法。

【特許請求の範囲】

[CLAIMS]

【請求項1】

[SUBJECT of the Invention]

By solving or reducing greatly the problems of 幅に軽減することにより、高容 the prior art, the main objective is to provide a technique of obtaining a negative-electrode ウムイオン二次電池用負極材を material for rechargeable lithium-ion batteries 得る技術を提供することを主な with high capacitance|volume and excellent cycle property.

[PROBLEM to be solved]

for The negative-electrode material rechargeable lithium-ion batteries using the hybrid carbon material by carrying out formation of a non-crystalline carbon thin film on a または黒鉛粒子と非晶性炭素粒 graphite grain, and carrying out a graphite layer at least 1 layer formation on a non-crystalline carbon particle, and/or carrying out uniform mixing of a graphite grain the and non-crystalline carbon particle, and its manufacturing method.

[CLAIM 1]

負極の構成要素として用いられ A negative-electrode material for rechargeable る炭素粉末粒子表面にこれと結 lithium-ion batteries which coats uniformly at 晶構造の違う炭素の薄膜を均一 least one layer of the thin film of the carbon with に、少なくとも一層被覆してな which this and crystal structure are different on



極材。

るリチウムイオン二次電池用負 the carbon powder grain surface used as a constituent element of a negative electrode.

【請求項2】

黒鉛粉末粒子表面を液状樹脂に より均一に付着させ、これを焼 膜を形成してなる請求項1に記 載のリチウムイオン二次電池用 amorphous charcoal 負極材。

【請求項3】

を改善してなる請求項2に記載 極材。

【請求項4】

難黒鉛化性樹脂粉末粒子表面に 易黒鉛化性樹脂を被覆し、これ を黒鉛化温度まで焼成して得ら れる請求項1に記載のリチウム イオン二次電池用負極材。

【請求項5】

粉末粒子を均一に混合してなる リチウムイオン二次電池用負極 graphite-powder 材。

【請求項6】

樹脂粉末粒子を均一に混合し、

[CLAIM 2]

A graphite-powder grain surface is made to adhere uniformly with a liquid resin.

成することにより非晶質炭素薄 A negative-electrode material for rechargeable lithium-ion batteries of Claim 1 which forms an raw thin film bγ bake-processing this.

[CLAIM 3]

黑鉛粉末粒子表面を表面処理す A negative-electrode material for rechargeable ることにより液状樹脂の付着性 lithium-ion batteries of Claim 2 which improves the sticking property of a liquid resin by のリチウムイオン二次電池用負 surface-treating the graphite-powder grain surface.

[CLAIM 4]

A negative-electrode material for rechargeable lithium-ion batteries of Claim 1 obtained by bake-processing this to graphitized temperature and coating an easily graphized property resin on the difficult graphitized property resin powder grain surface.

[CLAIM 5]

黒鉛粉末粒子および非晶質炭素 A negative-electrode material for rechargeable lithium-ion batteries which mixes uniformly a and grain an amorphous-carbon powder grain.

[CLAIM 6]

黒鉛粉末粒子および難黒鉛化性 A negative-electrode material for rechargeable lithium-ion batteries which uniformly mixes a これを焼成して樹脂分を炭素化 graphite-powder grain and a difficult graphitized



池用負極材。

してなるリチウムイオン二次電 property resin powder grain and Bake-processes this and carbonizes a resin part.

【請求項7】

含浸法により表面処理すること により非晶質炭素薄膜を形成し てなる請求項1に記載のリチウ ムイオン二次電池用負極材。

【請求項8】

負極の構成要素として用いられ A る炭素粉末粒子表面にこれと結 晶構造の違う炭素の薄膜を均一 に、少なくとも一層被覆してな 極材の製造方法。

【請求項9】

黒鉛粉末粒子表面を液状樹脂に より均一に付着させ、これを焼 成することにより非晶質炭素薄 負極材の製造方法。

【請求項10】

黒鉛粉末粒子表面を表面処理す ることにより液状樹脂の付着性 を改善してなる請求項2に記載 極材の製造方法。

[CLAIM 7]

黒鉛粉末粒子表面を化学的気相 A negative-electrode material for rechargeable lithium-ion batteries of Claim 1 which forms an amorphous charcoal raw thin film graphite-powder surface-treating grain а surface by a chemical gaseous-phase impregnating method.

[CLAIM 8]

method of manufacturing negative-electrode material for rechargeable lithium-ion batteries which coats uniformly further at least one layer of a thin film of carbon るリチウムイオン二次電池用負 with which this and crystal structure are different on the carbon powder grain surface used as a constituent element of a negative electrode.

[CLAIM 9]

A graphite-powder grain surface is made to adhere uniformly with a liquid resin.

method manufacturing of 膜を形成してなる請求項1に記 negative-electrode material for rechargeable 載のリチウムイオン二次電池用 lithium-ion batteries of Claim 1 which forms an amorphous charcoal raw thin film by bake-processing this.

[CLAIM 10]

method manufacturing of negative-electrode material for rechargeable lithium-ion batteries of Claim 2 which improves のリチウムイオン二次電池用負 the sticking property of a liquid resin by surface-treating the graphite-powder grain



surface.

【請求項11】

難黒鉛化性樹脂粉末粒子表面に A を黒鉛化温度まで焼成して得ら れる請求項1に記載のリチウム 方法。

【請求項12】

黒鉛粉末粒子および非晶質炭素 粉末粒子を均一に混合してなる 材の製造方法。

【請求項13】

黒鉛粉末粒子および難黒鉛化性 A 樹脂粉末粒子を均一に混合し、 してなるリチウムイオン二次電 池用負極材の製造方法。

【請求項14】

黒鉛粉末粒子表面を化学的気相 含浸法により表面処理すること により非晶質炭素薄膜を形成し てなる請求項1に記載のリチウ 造方法。

【発明の詳細な説明】

[CLAIM 11]

method of manufacturing а 易黒鉛化性樹脂を被覆し、これ negative-electrode material for rechargeable lithium-ion batteries of Claim 1 obtained by coating an easily graphized property resin on a イオン二次電池用負極材の製造 difficult graphitized property resin powder grain surface and bake-processing this to graphitized temperature.

[CLAIM 12]

manufacturing method of the negative-electrode material for rechargeable リチウムイオン二次電池用負極 lithium-ion batteries which mixes uniformly a graphite-powder grain and an amorphous-carbon powder grain.

[CLAIM 13]

manufacturing method of negative-electrode material for rechargeable これを焼成して樹脂分を炭素化 lithium-ion batteries which uniformly mixes a graphite-powder grain and a difficult graphitized property resin powder grain bake-processes this and carbonizes a resin part.

[CLAIM 14]

manufacturing method of negative-electrode material for rechargeable lithium-ion batteries of Claim 1 which forms an amorphous charcoal thin raw film ムイオン二次電池用負極材の製 surface-treating the graphite-powder grain surface by the chemical gaseous-phase impregnating method.

[DETAILED DESCRIPTION of the



INVENTION

[0001]

[0001]

【産業上の利用分野】

本発明は高容量、サイクル特性 This に優れたリチウムイオン二次電 capacitance|volume, に関するものである。

[0002]

[INDUSTRIAL APPLICATION]

invention relates to high the negative-electrode 池用負極材およびその製造方法 material for rechargeable lithium-ion batteries which was excellent in the cycle property, and its manufacturing method.

[0002]

【従来技術】

であり、近年注目されている。 しかしながら金属リチウムを二 合、充電時に負極表面にデント 結晶がセパレーターを突き破り こすことがあった。このためリ チウムを炭素材料に挿入させた に結晶化したものがある。非晶 used.

[PRIOR ART]

リチウムイオン二次電池は高エ A rechargeable lithium-ion battery is 1 type of ネルギー密度、貯蔵特性および the secondary cell which was excellent in a 信頼性に優れた二次電池の一種 high-energy density, a storage property, and reliability.

It is observed in recent years.

次電池の負極活物質に用いた場 However, when metal lithium is used for the negative-electrode active material ライトと称される針状結晶の金 secondary cell, the metal lithium of a needle 属リチウムが析出し、この針状 crystal called a dent-torque write on the negative-electrode surface at the time of 正極と負極の間で内部短絡を起 charging precipitates, this needle crystal might break through the separator and the internal short circuit might be caused between the 負極材が用いられている。この positive electrode and the negative electrode.

場合用いる炭素材料として非晶 For this reason, the negative-electrode material 質系のものと黒鉛のように高度 which inserted lithium in the carbon material is

質系の炭素材料をリチウムイオ As a carbon material used in this case, like an ン二次電池用負極材に用いた場 amorphous thing and graphite, there are some



合、容量が大きくなるが、サイ which were crystallized highly. 対して黒鉛を用いると容量は小 for 定するため、現在リチウムイオ becomes bigger. が主流となりつつある。すなわ bigger. リチウムイオン二次電池用負極 capacity will become smaller. 372Ah/kg であり、実際の容量も type is becoming in use. この値前後である。一方ポリア の高容量になるが、サイクル劣 intercalate lithium. 化は著しく、サイクル数が多く とが知られている。

クル劣化も大きくなる。これに When the amorphous carbon material is used the negative-electrode material さくなるが、サイクル特性が安 rechargeable lithium-ion batteries,

ン二次電池用負極材では黒鉛系 However, cycle deterioration also becomes

ち黒鉛にリチウムを想持させた On the other hand, if graphite is used, a

材は黒鉛層間にリチウムをイン However, since a cycle property is stabilized, in ターカレートさせた組成として the negative-electrode material for the present LiC6 であり、その理論容量は rechargeable lithium-ion batteries, a graphite

That is, the negative-electrode material for セン構造を持つ非晶質炭素材料 rechargeable lithium-ion batteries which made からのリチウムイオン二次電池 graphite carry lithium is LiC6 as a composition 用負極材では 600~800Ah/kg whose graphite intercalation was made to

The theoretical capacity is 372 Ah/kg.

なると黒鉛以下の容量になるこ An actual capacity is also before and after this value.

> the material ln negative-electrode for rechargeable lithium-ion batteries from the amorphous carbon material which has poly acene structure on the other hand, it becomes 600 to 800-Ah/kg high capacitance/volume.

> However, it is known that cycle deterioration will become a capacity below graphite remarkably if the number of cycles increases.

[0003]

面に非晶質炭素被膜を形成し、 これをリチウムイオン二次電池 graphitized 用負極材に用いた公知のものと

[0003]

黒鉛化構造を有する炭素粒子表 An amorphous-carbon coating film is formed in the carbon-particle surface which has structure. unexamined-Japanese-Patent No. 4-368778 しては、特開平4-36877 and USP5344726 are one of those well-known



8 およびUSP 5 3 4 4 7 2 6 がある。しかしながらこの方法 では黒鉛粒子表面にプロパンガ ス等の炭化水素ガスを流しなが ら焼成することにより黒鉛粒子 表面に非晶質炭素被膜を形成し ている。この方法では炭化水素 晶質炭素被膜が形成し易いが、 子同士が密着している部分には CVD法をもってしても非晶質 炭素被膜を形成しない。

which used this for the negative-electrode material for rechargeable lithium-ion batteries. However. bv this method. amorphous-carbon coating film is formed in the graphite grain surface by bake-processing passing hydrocarbon gas, such as propane gas, on the graphite grain surface.

ガスに直接接触する部分には非 By this method, it is easy to form an amorphous-carbon coating film in the part which 黒鉛粒子は凝集するため黒鉛粒 contacts directly in hydrocarbon gas.

> However, since a graphite grain is aggregated, even if it uses it as the part which graphite grains contact with a CVD method, it does not form an amorphous-carbon coating film.

[0004]

100041

題】

の異なる薄膜層を少なくとも一 容量、サイクル特性に優れたリ チウムイオン二次電池用負極活 とする。

[0005]

【発明が解決しようとする課 [PROBLEM to be solved by the Invention]

Therefore, this invention, by the conventional 従って、本発明は従来のCVD CVD method, by carrying out adhesion of at 法では得られなかった炭素粒子 least one thin-film layer from which it 表面に均質化してかつ結晶構造 homogenises on the carbon-particle surface which was not obtained, and crystal structure 層以上付着させることにより高 differs, the main objective is to provide a negative-electrode active rechargeable lithium-ion batteries which are 物質を提供することを主な目的 excellent in high capacitance|volume and cycle property.

[0005]

【課題を解決するための手段】 本発明者はリチウムイオン二次 This inventor 電池用負極材として、高容量で As

[MEANS to solve the Problem]

the for negative-electrode material



はあるがサイクル特性の劣る非 rechargeable 晶質炭素材料の特徴とサイクル 特性に優れているが低容量であ る黒鉛質炭素材料とをハイブリ ッド化することによりその目的 を達成し得ることを見出した。

lithium-ion batteries. by hybridizing the characteristics of the amorphous carbon material in which a cycle property is inferior although it is high capacitance volume, and graphite carbon material which is low capacity although it is excellent in cycle property.

[0006]

面に有機ガスを流し、このガス の熱分解によって黒鉛粒子表面 に非晶質炭素被膜を形成するの であるが、黒鉛粉末粒子塊の表 面層と内部層では非晶質炭素被 膜の形成の程度が異なる。すな わち、表面層は非晶質炭素被膜 が厚く、内部層、とりわけ中心 部ではほとんどの場合非晶質炭 素被膜の被覆層が形成しない。

[0006]

従来のCVD法では黒鉛粒子表 In the conventional CVD method, organic gas is passed on the graphite grain surface, an amorphous-carbon coating film is formed in the 'graphite surface by: thermal grain decomposition of this gas.

> However, in a graphite-powder grain lump's surface layer and internal layer, the grades of formation of an amorphous-carbon coating film differ.

Namely, the amorphous-carbon coating film of a surface layer is thick, and, in almost all cases, the coating layer of an amorphous-carbon coating film does not form it by the internal layer and division central part.

[0007]

本発明者は炭素粉末粒子中に樹 脂、ヒ゜ッチなどの有機系の粉 末粒子を均一に混合したものを 非酸化雰囲気下で焼成すること により熱分解ガスにより炭素粉 末粒子表面に新たな炭素被膜の 形成が可能なことを見出した。 あるいは炭素粉末粒子を液状樹 脂中に浸すことにより炭素粉末 粒子表面を樹脂コートし、これ

[0007]

This inventor discovered that formation of a new carbon coating film was made on the carbon powder grain surface by thermal decomposition gas by bake-processing what mixed the powder grain of organic types, such as a resin and a pitch, uniformly in the carbon powder grain by the non-oxidizing atmosphere.

Or the resin coat of the carbon powder grain surface is carried out by dipping a carbon powder grain into a liquid resin, and the carbon を焼成することにより炭素被膜 coating film was formed by bake-processing



を形成させた。この場合、黒鉛 粒子表面に非晶質炭素被膜を形 成するばかりでなく、非晶質炭 も可能である。

this.

In this case, it not only forms amorphous-carbon coating film in the graphite 素粒子表面に黒鉛被膜層の形成 grain surface, but it becomes as follows.

Formation of a graphite coating-film layer is also made on the amorphous carbon-particle surface.

[0008]

即ち、本発明は、下記のリチウ ムイオン二次電池用負極材料を 提供するものである; 1. 極の構成要素として用いられる 炭素粉末粒子表面にこれと結晶 構造の違う炭素の薄膜を均一 に、少なくとも一層被覆してな 極材およびその製造方法。

[8000]

That is, this invention provides the following negative-electrode material for rechargeable 負 lithium-ion batteries.;

1. Negative-electrode material for rechargeable lithium-ion batteries which coats uniformly further thin film of carbon with which this and crystal structure are different on the るリチウムイオン二次電池用負 carbon powder grain surface used constituent element of negative electrode even if few|small, and its manufacturing method.

[0009]

黒鉛粉末粒子表面を液状樹 脂により均一に付着させ、これ を焼成することにより非晶質炭 素薄膜を形成してなる上記項1 に記載のリチウムイオン二次電 池用負極材およびその製造方 法。

[0009]

2 Making the graphite-powder grain surface adhere uniformly with a liquid resin.

The negative-electrode material for rechargeable lithium-ion batteries of said claimlitem 1 which forms an amorphous charcoal raw thin film by bake-processing this, and its manufacturing method.

[0010]

3. 黒鉛粉末粒子表面を表面処 理することにより液状樹脂の付 着性を改善してなる上記項2に 記載のリチウムイオン二次電池 用負極材およびその製造方法。

[0010]

3. Negative-electrode material for rechargeable lithium-ion batteries of said claimlitem 2 which improves sticking property of liquid resin by surface-treating the graphite-powder grain surface, and its manufacturing method.



[0011]

面に易黒鉛化性樹脂を被覆し、 これを黒鉛化温度まで焼成して 得られる上記項1に記載のリチ よびその製造方法。

[0012]

炭素粉末粒子を均一に混合して なるリチウムイオン二次電池用 負極材およびその製造方法。

[0013]

6. 黒鉛粉末粒子および難黒鉛 化性樹脂粉末粒子を均一に混合 し、これを焼成して樹脂分を炭 素化してなるリチウムイオンニ 次電池用負極材およびその製造 方法。

[0014]

7. 黒鉛粉末粒子表面を化学的 気相含浸法により表面処理する ことにより非晶質炭素薄膜を形 成してなる請求項1に記載のリ チウムイオン二次電池用負極材 およびその製造方法。

[0015]

[0011]

4、 難黑鉛化性樹脂粉末粒子表 4. Coating easily graphized property resin on difficulty graphitized property resin powder grain surface, the negative-electrode material for rechargeable lithium-ion batteries of said ウムイオン二次電池用負極材お claimlitem 1 obtained by bake-processing this graphitized temperature, and its manufacturing method.

[0012]

5. 黒鉛粉末粒子および非晶質 5. Negative-electrode material for rechargeable lithium-ion batteries which mixes uniformly graphite-powder grain and amorphous-carbon powder grain, and its manufacturing method.

[0013]

6. Mixing uniformly graphite-powder grain and difficulty graphitized property resin powder grain, the negative-electrode material for rechargeable lithium-ion batteries which bake-processes this and carbonizes a resin part, and its manufacturing method.

[0014]

7. Negative-electrode material for rechargeable lithium-ion batteries of Claim 1 which forms amorphous charcoal raw thin film surface-treating the graphite-powder grain surface chemical gaseous-phase by impregnating method, and its manufacturing method.

[0015]

【発明の実施の形態】

[EMBODIMENT f the Inv nti n]



本発明に用いる結晶性炭素粒子 The crystalline carbon particle used for this は黒鉛に相当し、特に限定する わけでは無いが、平均粒径5~ 鉛、人造黒鉛、キッシュ黒鉛等、 黒鉛の種類は限定しないが、結 晶構造が発達したものが望まし V.

invention corresponds to graphite, and there is no reason for limiting in particular.

50μm、より望ましくは10 However, mean particle diameter of 5 to 50 ~30μm程度であり、天然黒 micrometers, more desirably, about 10 to 30 micrometers.

> The kind of graphite, such as natural graphite, artificial graphite, and a kish graphite, is not limited.

> However, that from which crystal structure developed is desirable.

[0016]

本発明に用いる非晶性炭素粒子 ン分光分析等の測定をしたとき に難黒鉛性を示す炭素粒子をい う。例えば、ここに掲げるもの に限定するわけではないが、合 成樹脂類(フェノール樹脂、フ ラン樹脂、ポリイミド樹脂、ポ リパラフェニレン樹脂、コプナ 樹脂、あるいはこれらの共重合 樹脂)、天然物類(松ヤニ、各種 木材、石炭、石油からの重質油 炭率の高いものが望ましい。

[0016]

With the non-crystalline carbon particle used for とは2500℃以上の温度で黒 this invention, graphitized treatment is carried 鉛化処理して、X線回折、ラマ out at the temperature more than 2500 degrees-Celsius. when measuring diffraction, a Raman spectroscopic analysis, etc., the carbon particle which shows difficulty graphite property is said.

> For example, it does not necessarily limit to what is hung up here.

However, synthetic resins (phenol resin. furanformaldehyde resin, polyimide resin. polyparaphenylene resin, copna resin

Or these copolymers)

など) 等、炭素化したときに残 The natural products (the rosin, various timbers, coal, heavy oil from petroleum, etc.) of the high thing of an actual carbon ratio are desirable when it carbonizes.

[0017]

5/29/2003

[0017]

次にこれら炭素粒子に結晶構造 Next, as a method of forming in these carbon の違う炭素被膜を形成する方法 particles the carbon coating film from which として、結晶性炭素粒子上に非 crystal structure is different, a crystalline carbon 晶性炭素被膜を形成させる場合 coating film may be formed on the case where a



素被膜を形成させる場合があ a る。結晶性炭素粒子上に非晶性 non-crystalline carbon particle. させて炭素化することによりハ 獨する方法としては、液状樹脂 carbonizing. 類に黒鉛粒子を浸し、黒鉛粒子 素化する方法がある。この場合、 被覆厚みは樹脂濃度に依存す る。また黒鉛粒子と上記した非 晶性炭素になり得る樹脂類粉末 を均一に混合し、特に限定する わけではないが、400~10 00℃、より望ましくは500 ~800℃に熱分解焼成して、 非晶性炭素被膜を形成した黒鉛 粒子と非晶性炭素が混在する。 するようなガス、例えばメタン、 エタン、プロパン、ブタン、エ チレン、アセチレン等の炭化水 素ガスを熱分解温度以上に加熱 した黒鉛粉末上に流し、熱分解 うが、さらに黒鉛粉末塊内部ま

と非晶性炭素粒子上に結晶性炭 non-crystalline carbon coating film is formed on particle. crystalline carbon

炭素被膜を形成させる場合とし As when forming a non-crystalline carbon ては、黒鉛粒子に上記した非晶 coating film on a crystalline carbon particle, a 性炭素になり得る樹脂類を被覆 hybrid carbon particle is obtained by making a graphite grain coat the resins which can イブリッド炭素粒子を得る。被 become said non-crystalline carbon,

As a method of coating, a graphite grain is 表面に樹脂類を被覆させた後炭 dipped in liquid resins, and the method of back-carbonizing of coating resins is shown in the graphite grain surface.

> In this case, it depends for coated thickness on resin concentration.

Moreover, the resin powder which can become a graphite grain and said non-crystalline carbon is mixed uniformly, it does not necessarily limit in particular.

熱分解ガスの蒸着により黒鉛粒 However, 400-1000 degrees-Celsius, thermal 子表面に非晶性炭素被膜を形成 decomposition baking processing is carried out したものがある。この場合では more desirably at 500-800 degrees-Celsius, which formed there are some the non-crystalline carbon coating film in the この他、熱分解して炭素を生成 graphite grain surface by vapor deposition of thermal decomposition gas.

> In this case, the graphite grain and the non-crystalline carbon which the in non-crystalline carbon coating film was formed are intermingled.

炭素を黒鉛粒子表面に形成させ In addition, hydrocarbon gas, such as gas る方法もある。このような手法 which thermally decomposes and generates a を化学的蒸着法(CVD)とい carbon, for example, methane, an ethane, a propane, a butane, ethylene, and acetylene, is で均一に処理できる化学的気相 passed on the graphite powder heated more 含漫法(CVI)によりハイブ than the thermal decomposition temperature,



ることができる。

リッド炭素粒子を得る方法も取 there is also a method of forming a pyrolytic carbon in the graphite grain surface.

> Such an approach is called chemical vapor deposition (CVD).

> However, the method of obtaining a hybrid carbon particle by the chemical gaseous-phase impregnating method (CVI) which can further be treated to homogeneity to the interior of a graphite-powder lump can also be taken.

[0018]

[0018]

で焼成すれば良い。

非晶性炭素粒子上に結晶性炭素 As when forming a crystalline carbon coating 被膜を形成させる場合として film on a non-crystalline carbon particle, it coats は、上記した非晶性炭素になり with an easily graphized resin to the resin 得る樹脂類粉末に易黒鉛化樹脂 powder which can become said non-crystalline で被覆し、これを黒鉛化温度ま carbon, and all that is necessary is just to bake-process this to graphitized temperature.

[0019]

[0019]

【実施例】

[EXAMPLES]

にする。

以下に実施例を示し、本発明の An Example is shown below, the point by which 特徴とするところを一層明らか this invention characterized is clarified further.

[0020]

[0020]

実施例1

Example 1

平均粒径 1.5 μ m の黒鉛粒子 It makes ammonia a catalyst for the graphite (結晶層間距離: 0. 6710 grain (crystal intercalation distance: 0.6710 nm nm, 結晶子の大きさ:100 and size of a microcrystal: 100 nm or less) of nm以下) をアンモニアを触媒 15 micrometer of mean particle diameters, it にして合成したレゾールタイプ dips in a phenol-resin solution (25 wt% of resin のフェノール樹脂溶液 (樹脂園 solid contents, methanol 75 wt% solution) 形分25wt%、メタノール7 compound resol type, after carrying out the 5 w t %溶液)に浸し、軽く真 vacuum degassing lightly, it filtered and the



昇させて硬化した。

空脱泡してから口過して過剰の excess phenol-resin solution was removed.

フェノール樹脂溶液を取り除い Subsequently, a precure was carried out for 24 た。次いで24時間室温にて放 hours in a drying machine after leaving it at 闇して風乾した後40℃の熱風 room temperature for 24 hours and carrying out 循環式恒温乾燥機内で24時間 hot-air circulation type air drying at 40 予備硬化した。さらに150℃ degrees-Celsius at a constant temperature.

まで100時間かけて温度を上 Furthermore, temperature was raised to 150 degrees-Celsius for over 100 hours, and it was hardened.

[0021]

得た。これをリチウム電池負極 obtained. ート系で充放電流密度 0.1 m Electrolyte 性を調べた。

[0021]

このようにフェノール樹脂で被 Thus, the graphite grain coated with the phenol 覆した黒鉛粒子をアルゴンガス resin was bake-processed over 8 hours in 雰囲気下で、室温から700℃ argon gas atmosphere from room temperature まで8時間かけて焼成してハイ to 700 degrees-Celsius, and the hybrid ブリッド化した炭素粒子粉末を carbon-particle powder which turned was

材用充放電測定裝置((株) ナガ It is a charge-and-discharge measuring device ノ製BTS-2004型。)を用 for lithium-cell negative-electrode materials い、電解液はエチレンカーボネ (Nagano BTS-2004 type.) about this.

investigated A/c m2 の条件下で充放電特 charge-and-discharge property on conditions with a charge-and-discharge style density of 0.1 mA/cm2 by ethylene carbonate -based using this.

[0022]

実施例2

実施例1と同様に行った。

[0022]

Example 2

樹脂固形分50wt%(メタノ It carried out like Example 1 except using 50 ール50wt%) を使う以外は wt% (methanol 50 wt%) of resin solid contents.

[0023]

実施例3

[0023]

Example 3

実施例1で用いたものと同様の It carried out like Example 1 except treating the 黒鉛粉末を400℃の空気雰囲 graphite powder similar to what was used in

JP11-317228-A



外は実施例1と同様にして行っ atmosphere for 24 hours. た。

気下で24時間酸化処理する以 Example 1 in 400 degrees-Celsius air

[0024]

実施例4

た。

[0025]

実施例5

同様にして行った。

[0026]

実施例6

同様にして行った。

[0027]

実施例7

硬化ずみフェノール樹脂粉末 5 し、アルゴンガス雰囲気下で、

[0024]

Example 4

硬化ずみフェノール樹脂粉末を 50 wt% of non-crystalline carbon powder and 50 アルゴンガス雰囲気下で、室温 wt% of graphite powders similar to Example 2 から700℃まで8時間かけて which bake-processed hardened phenol-resin 焼成した非晶性炭素粉末50 w powder over 8 hours in argon gas atmosphere t %と実施例 2 と同様の黒鉛粉 from room temperature to 700 degrees-Celsius 末50wt%を均一に混合して were mixed uniformly, and the charge and 実施例 1 と同様に充放電を調べ discharge was investigated like Example 1.

[0025]

Example 5

実施例4における非晶性炭素粉 It carried out like Example 4 except making 末を25wt%、黒鉛粉末75 non-crystalline carbon powder in Example 4 into w t %とする以外は実施例 4 と 25 wt% and 75 wt% of graphite powders.

[0026]

Example 6

実施例4における非晶性炭素粉 It carried out like Example 4 except making 末を 7 5 w t %、黒鉛粉末 2 5 non-crystalline carbon powder in Example 4 into w t %とする以外は実施例 4 と 75 wt% and 25 wt% of graphite powders.

[0027]

Example 7

50 wt% of hardened phenol-resin powder and Owt%および実施例2の黒鉛 50 wt% of graphite powders of Example 2 are 粉末50wt%を均一に混合 mixed uniformly, in argon gas atmosphere, it bake-processed over 8 hours from room 室温から700℃まで8時間か temperature to 700 degrees-Celsius, and the



充放電を測定した。

けて焼成して実施例1と同様に charge and discharge was measured like Example 1.

[0028]

実施例8

施例7と同様にして行った。

[0028]

Example 8

硬化ずみフェノール樹脂粉末7 It carried out like Example 7 except considering 5 w t % および実施例 2 の黒鉛 as 75 wt% of hardened phenol-resin powder, 粉末25wt%とする以外は実 and 25 wt% of graphite powders of Example 2.

[0029]

実施例9

施例7と同様にして行った。

[0029]

Example 9

硬化ずみフェノール樹脂粉末 2 It carried out like Example 7 except considering 5 w t % および実施例2の黒鉛 as 25 wt% of hardened phenol-resin powder, 粉末75wt%とする以外は実 and 75 wt% of graphite powders of Example 2.

[0030]

実施例10

用いて800℃の温度で100 素粉末を得て実施例1と同様に 充放電を測定した。

[0030]

Example 10

実施例2と同様の黒鉛粉末にプ Mixed gas is passed so that it may become ロパンガス 5 0 v o 1 %および propane-gas 50 vol% and argon gas 50 vol% to アルゴンガス50 v o 1%にな the graphite powder similar to Example 2, the るように混合ガスを流し、パル pulse was treated, the hybrid carbon powder スCVI装置(フルテック(株) which turned was obtained, and the charge and 製FT-CVI 1200型) を discharge was measured like Example 1 until it became 1000 pulses at 800 degrees-Celsius 0 パルスになるまでパルス処理 temperature using the pulse CVI apparatus を行ってハイブリッド化した炭 (FT-CVI 1200 type made from Full Tech).

[0031]

実施例11

[0031]

Example 11

3、5 ジメチルフェノール 1 モ As opposed to 1 mol of 3,5 dimethylphenols, in ルに対し、ホルマリン1.5モ methanol solution (25 wt% of resin solid ルおよびアンモニア 0. 0 0 2 contents, and methanol 75 wt%) of a resol



wt%から合成したレゾールター イプの3、5ジメチルフェノー 75wt%) 中に200メッシ 粉末を入れ、よくかき混ぜた後、 軽く真空脱泡して硬化ずみフェ ノール樹脂粉末表面上に3、5 した。次にこれを口過し、過剰 の3、5ジメチルフェノール樹 脂溶液を取り除いた後3、5ジ メチルフェノール樹脂を被覆し を室温にて24時間風乾した。 乾燥機内で24時間予備硬化し た後150℃まで10時間かけ て温度を上昇させて硬化ずみフ エノール樹脂粉末表面の3、5 ジメチルフェノール樹脂硬化さ 気下で12時間かけて120 0℃まで温度を上昇させて炭素 化した。さらに超高温炉にてア ルゴンガス雰囲気下で室温から 2500℃まで10時間で上昇 って難黒鉛化炭素粉末表面に易 イブリッド化した炭素粉末を得 定した。

w t %から合成したレゾールタ type 3,5 dimethylphenol resin that was イプの 3、5 ジメチルフェノー compounded from 1.5 mol of formalin and 0.002 ル樹脂のメタノール溶液(樹脂 wt% of ammonia, adding hardened 200 固形分 2.5 w t %、メタノール mesh-passed phenol-resin powder, after often 7.5 w t %)中に 2.0 0 メッシ stirring, the vacuum degassing was carried out lightly and 3 and 5 dimethylphenol resin were 粉末を入れ、よくかき混ぜた後、 coated on the hardened phenol-resin powder 軽く真空脱泡して硬化ずみフェ surface.

ノール樹脂粉末表面上に3、5 Next, this is filtered, after removing excess 3 ジメチルフェノール樹脂を被覆 and 5 dimethylphenol (resin) solution, the air した。次にこれを口過し、過剰 drying of the hardened phenol-resin powder の3、5ジメチルフェノール樹 which coated 3 and 5 dimethylphenol resin was 脂溶液を取り除いた後3、5ジ carried out at room temperature for 24 hours.

メチルフェノール樹脂を被覆し Furthermore, in a 40 degrees-Celsius hot-air た硬化ずみフェノール樹脂粉末 circulation type drying machine at a constant を室温にて24時間風乾した。 temperature, after carrying out a precure for 24 bolic 40℃の熱風循環式恒温 hours, raising temperature over 10 hours to 150 乾燥機内で24時間予備硬化し degrees-Celsius, of the hardened phenol-resin た後150℃まで10時間かけ powder surface 3, 5 dimethylphenol resin tageを上昇させて硬化ずみフ hardening was carried out.

ェノール樹脂粉末装面の3、5 Over 12 hours, to 1200 degrees-Celsius, ジメチルフェノール樹脂硬化さ temperature was raised and this was せた。これをアルゴンガス雰囲 carbonized in argon gas atmosphere.

It is made to further raise from room temperature to 2500 degrees-Celsius in argon gas atmosphere by the ultra-high temperature furnace in 10 hours.

2 5 0 0 ℃まで 1 0 時間で上昇 It was maintained at this temperature for 1 hour. させ、この温度で 1 時間保持し Performing such graphitized treatment

た。このような黒鉛化処理を行 Obtaining the hybrid carbon powder which って難黒鉛化炭素粉末表面に易 turned in which the easily graphized carbon 黒鉛化炭素被膜を形成させたハ coating film was formed on the difficulty イブリッド化した炭素粉末を得 graphitized-carbon powder surface, the charge て実施例1と同様に充放電を測 and discharge was measured like Example 1.



[0032]

比較例1

実施例1で用いたと同様の黒鉛 粉末を何も処理せずに実施例1 と同様に充放電を測定した。

[0032]

Comparative Example 1

The charge and discharge was measured like Example 1, without treating any similar graphite powders with having used in Example 1.

[0033]

比較例2

硬化ずみフェノール樹脂粉末を から700℃まで8時間かけて 例1と同様に充放電を測定し た。

[0033]

Comparative Example 2

The charge and discharge was measured for アルゴンガス雰囲気下で、室温 the non-crystalline carbon powder which bake-processed hardened phenol-resin powder 焼成した非晶性炭素粉末を実施 over 8 hours in argon gas atmosphere from room temperature to 700 degrees-Celsius like Example 1.

[0034]

[0034]

【表1】

[TABLE 1]

	充電容	■ (mAh/g)	放皂容質	t (mAh/g)	可逆效	卓(%)
	サイクル		サイクル		サイクル	
	1	5	1	5	1	5
実施例1	440	379	369	36 5	83. 9	96. 3
実施例 2	445	380	3 75	375	84. 3	98.7
実施例 3	650	430	420	413	54. B	96. 0
実施例 4	765	500	430	425	56. 2	85. 2
麥施例 5	653	435	428	425	55. 5	97. 9
実施例 6	951	653	513	462	5 3. 9	70.7
实施例 7	852	523	496	482	58.2	92.2
实施例 8	973	627	521	479	53.5	76.4
実施俩 9	892	480	429	424	48.1	88. 3
実施例10	524	518	489	486	93.3	93.8
突施例1i	449	440	435	436	96. 9	99. 1
比較例 1	425	361	360	348	84. 7	96. 4
比較例 2	717	250	294	248	41.0	98.4



Row (left to right):

Charging capacity (mAh/g) cycle,

Discharge capacity (mAh/g) cycle,

Reversible efficiency (%) cycle,

Column (top to bottom):

Example 1, Example 2, Example 3, Example 4, Example 5, Example 6, Example 7, Example 8, Example 9, Example 10, Example 11, Comparative Example 1, Comparative Example 2

[0035]

[0035]

【発明の効果】

本発明によるリチウムイオンニ ものである。

[0036]

性炭素のハイブリッド炭素材料 は、黒鉛粒子上に非晶性炭素薄 膜の形成、および/または非晶 性炭素粒子上に黒鉛層を少なく 素粒子を均一混合する3法から 成る。これら3法の何れも、結 らなるリチウムイオン二次電池 用負極材よりも放電容量を大き

[ADVANTAGE of the Invention]

The negative-electrode material for 次電池用負極材は、サイクル特 rechargeable lithium-ion batteries by this 性に優れているが、放電容量に invention is excellent in the cycle property. 劣る黒鉛粒子および放電容量は However, although the graphite grain and 大きいがサイクル特性に劣る非 discharge capacity inferior to a discharge 晶製炭素粒子の欠点を補完する capacity are large, they complement the fault of the carbon particle made from a non-crystalline inferior to a cycle property.

[0036]

本発明による結晶性炭素と非晶 According to this invention, a crystalline carbon and non-crystalline carbon hybrid carbon material, formation of a non-crystalline carbon thin film is carried out on a graphite grain, and formation of at least 1 layer on a non-crystalline とも一層形成させること、およ carbon particle graphite layer is carried out, び/または黒鉛粒子と非晶性炭 and/or, it consists of 3 method which carries out uniform mixing of a graphite grain and the non-crystalline carbon particle.

晶性炭素である黒鉛粒子のみか The discharge capacity was able to be made larger than the negative-electrode material for rechargeable lithium-ion batteries which these 3



系炭素のみからなるリチウムイ オン二次電池用負極材よりもサ を高めることが可能となった。

くすることが可能となった。同 method any ones become only from the 時にポリアセンのような非晶質 graphite grain which is a crystalline carbon. It is excellent in a cycle property rather than the negative-electrode material for rechargeable イクル特性に優れ、充放電効率 lithium-ion batteries which is simultaneously made only of an amorphous -based carbon like a poly acene, charge-and-discharge efficiency were able to be raised.

DERWENT TERMS AND CONDITIONS

Derwent shall not in any circumstances be liable or responsible for the completeness or accuracy of any Derwent translation and will not be liable for any direct, indirect, consequential or economic loss or loss of profit resulting directly or indirectly from the use of any translation by any customer.

Derwent Information Ltd. is part of The Thomson Corporation

Please visit our home page:

"WWW.DERWENT.CO.UK" (English) "WWW.DERWENT.CO.JP" (Japanese)